（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス きゃんばす東予

公表日　令和 8 年 3 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		十分なにさが確保されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		十分な配置を行い、安全に活動提供できるよう体制を整えている。	利用児童数に対し職員が多いと思う日がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1		玄関が雨天時に滑りやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			男子トイレのにおいが気になる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	パーテーションで区切った一角を静養できるいスペースとして確保したり、テント内でカームダウンできるような環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		定期的に支援方法の見直しを行い、話し合う機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎日のミーティングで情報共有し、支援の困りごとや要望等について全体で話し合い、改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		感覚統合に関する研修を行ったり、各自興味のある分野の研修へ出向き、その後の情報共有を行っている。	各自が支援者として新しい視点を持ち続けることができるよう、外部研修の幅度を増やす。
適切な支援の提供	11	適応に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	9		計画書作成の際に全職員、共通理解がもてるよう支援の統一を図る機会を設けている。多職種による多角的な視点で検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	9		計画に沿った支援を行えるよう、ミーティングで確認を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する事により確認しているか。	9			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・関係機関」のならい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのより、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		週イベントや祝日企画、運動プログラムについて全職員で意見を出し合い立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		様々な経験を積んでいけるよう、またこどもが主体となるような活動を立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		言語聴覚士や理学療法士、保育士等による専門的な視点等踏まえ適宜に基づき、課題に合わせて個別療育と集団療育を実施している。	
	20	支援開始前には職員間でまず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		全職員が揃い次第ミーティングを実施し、活動内容や支援の確認、注意事項の共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間でまず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	支援終了後には各児童の支援記録を記入し、気づいたかや改善が必要となる点については翌日のミーティングで話し合うよう時間を設けている	送迎業務等で時間が確保できず、翌日になってしまうことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		支援のPDCAサイクルを継続して行うよう努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に1度のモニタリングを通して家庭や学校の情報収集を行い、課題抽出したとて計画書の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を模倣組み合わせて支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		「やらされる」ではなく主体的に選択していけるよう心情面を設定するよう努めている。スケジュールに「？」を組み込み、活動を自己選択する機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が児童担当者と打ち合わせ を行った後、出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等）、連絡調整（感染時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	5	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の色のこどもと活動する機会があるか。	7	2	繁忙りでは他事業所の児童を招待して交流を図ったり、きょうだいや保護者にも来ていただいた、また、公園等で地域のこどもたちと交流や遊具を共有することはある。	
	33	（仮立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		9		
保護者への説明等	36	通園規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		モニタリング前にこどものニーズを確認したり、必要に応じて児童発達支援管理責任者と面談を行っている。保護者の意向についてはモニタリング時に確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		対面のみではなく、電話やＬＩＮＥでの相談も随時受け付けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	3	繁忙りではきょうだいや保護者を招待し、楽しんでいただけたように思う。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動態度や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		インスタグラムを使って活動内容を発信している。また、日々の活動報告についてはLINEにて実施している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		今後、地域交流等も視野にいれながら活動を計画していく予定。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		事故や職員へは年度初めにマニュアルを配布している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		職員間ではBCPに沿った机上訓練を行い、全児童が訓練に参加できるよう活動設定を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		てんかん発作時に服薬が必要な児童については病院と連携を図り、情報をいただきながら適切な対応ができるよう職員間で情報共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			